

第3章 評価の結果に対する対応方針

分科会の評価結果を受けて、国総研では以下のように対応する。

(事後評価)

1. マルチモーダル交通体系の構築に関する研究

評価結果を踏まえ、研究成果についてはドキュメント化し、ホームページ等に公表し国民が問題意識として共有化できるように努めたい。

また、マルチモーダル施策に関するサービスレベルや人の主観的評価等のモニタリング調査手法、社会的効果の算定方法についても継続して検討していきたい。

さらに、物流改善効果としての環境負荷低減や複数企業の物流適正化等の分析に資するため、物流企業との情報交換のパートナーシップや物流分析のフレームワークのさらなる改善にも取り組んでいきたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても十分に念頭に置き、今後の研究を進めて参りたい。

2. 地域資源・交通拠点等のネットワーク化による国際観光振興方策に関する研究

評価結果を踏まえ、本研究成果の利活用のため、積極的なアウトリーチ活動を図って参りたい。具体的には、関係部局、自治体等の実務者、外部の研究者等と連携を図りつつ、本研究成果の積極的な情報発信等に努めたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても、十分に念頭においた上で、今後の研究を進めて参りたい。

3. 公共事業の総合コスト縮減効果評価・管理手法の開発

評価結果を踏まえ、収集した外部コストの計測事例をデータベースとして保管するとともに、新たに計測された事例を適宜追加し情報量を向上させるとともに、既存事例と照らし合わせて計測結果の妥当性の確認に努めたい。また、工事中の環境対策等の外部コスト評価の際には、本データベースを比較データとして提供して参りたい。さらに、本研究で開発したAHPを活用した原単位作成手法については、現場で試行し実用性および精度等の課題を確認して参りたい。

その他ご指摘いただいた事項について十分に念頭に置いた上で、今後の研究、実用に向けた取り組みを進めて参りたい。

4. 地震安全性能技術を活用した地震防災の検討

評価結果を踏まえ、被災リスクの定量的予測を前提とした建築基準の開発、被災リスクに関する情報開示を活用した市場選択・建設マネジメントの在り方について引き続き検討

を進め、関連分野への研究成果の応用を図って参りたい。さらに、定量的評価結果を一般ユーザーに分かりやすい「安心」へ転換する方策についても、今後の研究テーマ設定において主要な要素として検討して参りたい。

その他ご指摘いただいた事項についても、十分念頭に置いた上で今後の関連する研究を進めて参りたい。

5. 都市型社会に対応した市街地環境のあり方及び評価方法に関する研究

評価結果を踏まえ、形態規制によって実現される市街地環境について総合的評価が行えるよう、環境要素間相互の関係性を十分に考察しつつ、 h/d 等を候補として総合指標に関する検討を進めて参りたい。また、モデル市街地に止まっている検討対象を、様々なパターンの市街地に広げることにより実用性を高めていくとともに、研究成果を随時公表し、性能指標や基準の設定について社会的合意形成を図りながら、建築基準法の制度見直しに係る施策等に反映して参りたい。

その他ご指摘いただいた事項についても、十分念頭に置いた上で今後研究を進めて参りたい。

(中間評価)

6. 沿岸域における包括的環境計画・管理システムに関する研究

本研究においては現地で生態系創出のための技術開発を進めるとともに、「包括的計画」及び「順応的管理」についての手法を洗練されたものにしていこうとしており、評価結果を踏まえ今後とも市民に対する情報発信も行いつつ、効率的に研究を進めて参りたい。

その際、ご指摘いただいた事項については所内3研究部の連携だけでなく、(独)水産総合研究センター、(独)国立環境研究所など他省庁の研究機関、大学、地方自治体、漁業関係者、NPO等多様な主体との連携に留意して参りたい。

7. 受益者の効用に着目した社会資本水準の評価に関する研究

評価結果を踏まえ、指摘を受けた「社会資本整備水準の評価手法に関する研究」の内、集落の消滅が国土管理上及ぼす影響に関わる森林等の便益への影響の把握については、どういった条件においてどの程度の影響が出るのか等、ご指摘を踏まえてさらに検討を深めていくこととしたい。また、ソーシャルキャピタルと地域の力の関連づけについては、様々な状況にある多くの地域社会の状況を対象として、経済指標、地域資源、ソーシャルキャピタル等の状況分析を行う中で、それらの関連づけについて検討していきたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても、十分に念頭に置いた上で、今後の研究を進めて参りたい。

(事前評価)

8. 地球温暖化による気候変動の影響に適応した国土保全方策検討

気候変動の影響に対し適切な対策を検討・提示するためには、国総研の有する技術的な蓄積の延長線上の検討のみでは不十分であり、経済・社会分野を含む幅広い分野からの検討が不可欠と認識している。従って、国総研内での連携は勿論、必要に応じて他の研究機関との連携を図り、研究を進めたいと考えている。研究としての独創性が明確でないとの指摘も戴いているが、気候変動により、従来の施設整備では対応できない流域が生じることが予想されている。新たな視点からの対策が求められている訳であり、土地利用方策などを取り込んだ防災力強化方策の検討・提示など、広い分野との研究連携により、研究としての独創性は自ずと確保されるものと考えている。その他研究の実施に当りいくつかの有益なご示唆を戴いており、時間スケールを十分考慮するなど、ご示唆を考慮しつつ進めたいと考えている。

なお、指摘のあった土砂管理分野については、危機管理技術研究センターとの調整によりプロジェクト研究「気候変動等に対応した河川・海岸管理に関する研究」の対象とすることとした。

9. 港湾の広域連携化による海上物流への影響把握と効果拡大方策に関する研究

評価結果を踏まえて、大阪湾での事例に留めず他の地域でも港湾の効率化や海外の港湾との連携の強化に寄与する全国的な施策として、港湾行政に生かせるような方向性を視野に入れて研究を進めて参りたい。

また、効果の拡大方策としての支援システムにおける検討においてご指摘を頂いた、二港寄港による拡大効果の検討と支援システムの検討との関連性が不明確である点については、十分に配慮して明確にするように研究を進めて参りたい。さらに、陸上側物流交通拠点およびネットワークとの関係の分析に際しては、関連部局と調整して実施して参りたい。

10. 業務用建築の省エネルギー性能に係る総合的評価手法及び設計手法に関する研究

評価結果を踏まえ、設計建設運用に係る多種多様な専門家や異なるニーズをもった建物所有者居住者にとって、理解可能で活用可能な知見としてまとめる点が重要であるとの認識のもとに研究を進めてまいりたい。又、開発技術については既存建物にも適用可能なものが少なくないので、既存建物に係るガイドラインについての取りまとめること、省エネ計画及び設計における建物使用形態に配慮した評価法及び設計法の開発を行うこと、関係機関との連携を取りつつ進めることを念頭におきながら研究を実施してまいりたい。

その他ご指摘いただいた事項につきましても、十分に留意し研究を進めて参りたい。

11. 日本近海における海洋環境の保全に関する研究

評価結果を踏まえ、モデルの簡略化、効率的なデータ収集に努め、流域汚濁負荷量のデータベース化も視野に入れつつ、日本近海における水質汚染状況の把握および陸域負荷量

の把握を実施して参りたい。また、研究の実施にあたっては、計測・データ共有・モデル構築について近隣諸国との連携を十分に図り、国際的な枠組みの構築、下水道以外への広がりも念頭におきながら、研究成果として例えば総量規制等の具体的な施策誘導につながるような方策を提案できよう、計画性をもって進めて参りたい。

その他ご指摘いただいた事項については、ご指摘の趣旨を踏まえ、研究を進めて参りたい。

12. 内湾域における里海・アピールポイント強化プロジェクト

研究の実施にあたっては、プロジェクト研究「沿岸域における包括的環境計画・管理システムに関する研究」と十分連携をとって進め、アピールポイントの重要性が明確に成果として出せるよう、成果の効果的な広報も含め努力する。特に、市民参加の拠点づくり・環境を理解する上で役立つかどうかといった視点を基本に、得られた成果の体系化に努力する。また、まちづくり・住民参加等のように国総研が実施している他の分野の研究課題との関連性に留意する。特に、住民・NPOとの協働にあたっては、研究室が主体となり研究が進められるよう配慮し、実施するものとする。

13. 地域構造の変化に対応した新たな国土マネジメント手法に関する研究

評価結果を踏まえ、地域の持続性、脆弱性等に関する指標の検討にあたっては、現実に地域で起きている事象やその背景を確認しつつ検討を進めることとし、常にその妥当性について念頭に置きながら進めて参りたい。また、既存の各データベースの有効活用や連携を念頭におき検討を進めて参りたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても、十分に念頭に置いた上で、今後の研究を進めて参りたい。

14. 人口減少期における都市・地域の将来像アセスメントの研究

評価結果を踏まえ、内外の既往の研究成果やその応用や改良などの動向を収集分析し、これらとの連携に配慮して研究開発にあたって参りたい。また、社会経済環境など都市・地域をめぐる外部条件の変化も考慮しつつ、自治体がデータを入手加工して評価できうるような、利用しやすい技術の構築をめざして研究開発に取り組んで参りたい。

その他、ご指摘いただいた具体の事項については、十分に念頭に置いた上で今後研究を進めて参りたい。

15. 科学的分析に基づく生活道路の交通安全対策に関する研究

評価結果を踏まえ、生活道路における事故発生過程の解明にあたっては、プローブデータとして加速度データ以外に位置データ、画像情報データも合わせて整理するとともに、プローブデータからヒヤリハット抽出を行った既往研究を参考にするとともに、プローブデータの特性には十分配慮して検討を進めて参りたい。また、研究の実施にあたっては、

ヒヤリハットマップを作成している警察、教育委員会、自治体等他機関からもヒヤリハットの発生に関する情報を収集するとともに、研究成果は道路管理者以外の機関にも提供する等、他機関との連携にも十分配慮して参りたい。

その他ご指摘いただいた事項についても十分に留意し、科学的分析に基づく生活道路の安全対策を、全国に展開することを目標に研究を進めて参りたい。

16. 地域特性に応じた住宅施策の効果計測手法の開発

評価結果を踏まえ、地方公共団体が実施する多様な住宅施策のタイプを系統的に分類し、施策タイプに応じた適切なアウトカム指標の設定による効果計測手法について研究を進めるとともに、定量的な指標による効果計測が難しい施策については、定性的な効果計測が実施できる手法についても研究を進めて参りたい。その際、施策を評価する多様な視点について十分考慮するとともに、同一の施策タイプでも地域によって効果が異なる場合の制度詳細や地域的背景について検討し、住宅施策の効果に係る知識の体系化をめざして研究を進めて参りたい。

その他ご指摘いただいた事項については、十分に念頭に置いた上で、研究を進めて参りたい。

17. エアラインの行動を考慮した空港需要マネジメントに関する研究

評価結果を踏まえ、理論的枠組みの現実航空市場への適合性に配慮しながらモデル設計を行うとともに、モデル適用の限界についても明示しつつ、詳細なゾーニングやそれに基づく交通サービスレベルデータを利用し、実証的視点を重視して研究を進めることとした。また、研究の遂行にあたっては、他機関等との連携・情報交換につとめ、航空政策とのリンクを考慮しつつ研究活動を進めて参りたい。

その他ご指摘いただいた事項については、十分に念頭に置いた上で、研究を進めて参りたい。

18. IT を活用した動線データの取得と電子的動線データの活用に関する研究

評価結果を踏まえ、次の点に留意して研究を進めてまいりたい。

公的な研究であることから、民間における研究・サービスの成果を本研究に活用しつつ、民間では不可能な領域や防災などの公共が率先して取り組むべき分野に重点をおき、検討に取り組んでいきたい。研究成果の活用を促進するため、個人情報やプライバシー保護についての心理的な受容性、インセンティブを考慮した利用サイクルやアプリケーションについて十分に検討を行ってまいりたい。

複数のパターンの整理など、その他のご指摘いただいた事項についても配慮し研究を進めて参りたい。

19. 国土保全のための総合的な土砂管理手法に関する研究

流砂系における種々の人為的インパクトの影響について流域社会の変遷を含めて分析し、

防災上および環境上の両視点から研究を進めて参りたい。

特に環境面では、生物・ハビタットの繁殖ステージの要求水準を物理条件にフィードバックする形で望ましい変動幅といった閾値を、防災面でのバランスを考えた上で示せるように努力したい。

研究の進め方としては、ダム堆砂の問題が大きい天竜川、大規模土砂生産源を有する安倍川といった特徴的な流砂系をケーススタディ的に取り上げ、必要に応じて他の特性を有する流砂系も追加したい。

これらの成果をとりまとめ、整理することで全国の土砂管理を必要としている流砂系の管理のあり方にも参考となりうるような形で公表したい。